

2018 年度親愛幼稚園事業報告

- ◎社会状況の変化（少子化、働く母親の増加、幼保新制度等）、保護者のニーズを受けとめつつ、親愛幼稚園の良き伝統を今の時代によりよく生かす工夫と努力を継続して続けてきました。「認定こども園」への移行は当面行わないこととなりましたが、将来において必要適切と判断したときは移行できるように体制の整備に努め、保育環境の整備と保育内容の充実を図ってきました。
- ◎園児の安全、セキュリティ強化のため、9月10日より保育時間中の正門（大門小門とも）の施錠を行いました。
- ◎毎朝、職員の朝礼を行い、聖書の言葉に耳を傾け、祈るひとときを持っています。また各学期開始前の始業礼拝では、各職員が種々の役割分担をすることが定着してきました。
- ◎園としての全体的力の向上、保育の充実を図るため、職員の研修を重視し、園外の研修会への参加のほか、園内研修を大切にしています。園内研修では、キリスト教保育や音楽を中心にしてきました。例えばクリスマス聖劇の台本を一緒に読み、場面の意味、歌やセリフの理解を深めることにより、子どもたちがより気持ちをこめて取り組めるように努力しました。
- ◎週末礼拝、親子礼拝では年々集中度が深まってきています。また保護者の礼拝参加の気持ちが進んでいるのを感じます。
- ◎保護者を対象とする聖書の会（マリア会）を計8回行いました。今年度の内容は、礼拝堂案内、聖書の女性たちシリーズ、尹東柱の詩の世界、等でした。人数は多くありませんでしたが、関心を持つ保護者は少なくないようなので、新年度は新たに工夫をこらす予定です。
- ◎保護者を対象に、園主催で西塔治先生の講演会「ここでしか聞けない子育ての“超”秘訣～それは親が自分らしくあること～」を開催しました（6月21日）。
- ◎母の会役員・委員のご尽力、園へのご協力に感謝しています。

園 児 数

定員 120名

在園児数 112名 (2019年3月現在)

年少 36名

年中 39名

年長 37名

実施した年間諸行事

□ほぼ例年通りに実施した。実施に当たっては前年度の反省点を振り返りながら一つ一つの行事の見直しを行った。

毎週 : 体育あそび、週末礼拝（全園児）

毎月 : 誕生日会、身体測定、個人面談、親子礼拝（誕生日の祝福）、お茶のお稽古（年長）

4月 : 始園式、入園式、イースター礼拝、1年生おめでとう会

5月 : 内科検診、歯科検診、家庭訪問、若草山遠足、荒池親子遠足

6月 : 眼科検診、土曜参観（父招待）、クラルテ人形劇団観劇、自主地震防火避難訓練
交通安全教室

7月 : お泊りキャンプ（年長）、終園式、長期休暇中預かり保育（7～8月 21日間）

8月 : 夏季保育（3日間）

- 9月 : 始園式、萩の集い（祖父母ご招待）
- 10月 : 運動会予行練習、運動会、保育参観、さつまいも掘り遠足、球根植え
- 11月 : バザー、自由保育参観、収穫感謝祭、個人懇談
聖劇写真撮影（年長）、がんばろう遠足（年長）
- 12月 : クリスマス礼拝（聖劇）および祝会、キャロリング、自主地震防火避難訓練、
終園式 長期休暇中預かり保育（12月 1日間）
- 1月 : 始園式、おもちつき、作品展
- 2月 : 豆まき、おわかれ会、年中ご招待のお茶会（年長・中）、
母ご招待のお茶会（年長）
- 3月 : よろず劇場とんがらし人形劇団観劇、卒園礼拝および保育証書授与式（37名）、
終園式、長期休暇中預かり保育（3月 8日間）

危機管理への取り組み

- 5月30日 自主地震防火避難訓練 【内容】火災を想定した避難訓練（非常ベル鳴らす）
- 6月19日 交通安全教室 【指導】JAF 【内容】交通ルールについて
- 12月14日 自主防火避難訓練 【内容】地震、火災を想定した避難訓練（非常ベル鳴らす）、通報の練習、防災映画鑑賞

2017年度 構成員

<役員>

- 理事（9名）
- 監事（2名）
- 評議員（19名）

<教職員>

- 園長（1名）
- 主任（1名）
- 教員（11名）
- 職員（4名）